

三びきのやぎのがらがらどん

—アスビョルンセンとモーの北歐民話—
マーシャ・ブラウン 絵
せたていじ 訳



福音館書店 1965年 1000円

昔、がらがらどんという名前の3匹のやぎがおり、山の草場で太ろうと山へのぼっていきました。しかし、谷川の橋の下に大きなトロールが住んでおり、橋を渡ろうとするやぎたちを食べようとします。1匹目、2匹目は次にもっと大きいやぎがくるからと逃げ、3匹目はトロールと戦い、やっつけてしまいます。典型的な昔話の構成、力強い構図の迫力のある絵と、無駄のないリズムカルな訳で、長く愛されている絵本です。

しずかなおはなし

サムイル・マルシャーク 文
ウラジミル・レーベデフ 絵
うちだりさこ 訳



福音館書店 1963年 800円

とうさんとかあさんとぼうやのはりねずみが、真夜中の暗い道を家族そろって散歩に出かけます。そこへ、2匹のおおかみが忍び寄りますが、はりねずみはまりのように丸くなり身を守ります。あきらめきれないおおかみですが、遠くで鉄砲の音が聞こえたため逃げだし、はりねずみたちは無事に家に帰ります。詩のような文と、抑えた色彩ながら迫力のある絵です。地味ですが静かに語って聞かせたい絵本です。

しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男 作
山本忠敬 絵



福音館書店 1966年 743円

じぶたは古いジープを改造したちびっこ消防車です。働き者のじぶたですが、大きな火事で活躍するのはご車や高圧車に比べてばやにしか使われないので、自分がちびっけに思えてきます。そんなとき山小屋が火事になり、じぶたの出番がやってきます。スピード感のある文と、表情を感じさせる車の絵が魅力です。子どもはじぶたの気持ちになりきって、声援を送るでしょう。